

進む学校施設の耐震化整備

過疎地域自立促進計画の一部変更

平成17年度から平成21年度までの5カ年間で計画期間とする大崎町過疎地域自立促進計画の事業計画見直しで、事業量の確定による内容変更、名称変更の他、別の事業により整備予定や整備済みのため中止となった事業、また、現地調査等により優先度の変更が生じ、新規事業として計画にあらがったものです。

特に学校施設については、国が作成した「公立学校施設耐震化推進計画」の基本方針に基づき、平成20年度から平成24年度までの5年間において、公立学校施設の耐震化を促進する必要性が生じたために、改築の計画であったものが、耐震補強整備への変更となり、校舎と屋内運動場で合わせて6箇所耐震補強整備が新規で追加されました。

変更のあった主な事業

【新規】

- 農村振興総合整備事業高尾地区配水管布設替（上水道）
- 野方小学校校舎耐震補強整備
- 大崎小学校特別教室等耐震補強整備
- 中沖小学校校舎耐震補強整備
- 大崎小学校体育館耐震補強整備

- 野方小学校体育館耐震補強整備
- 菱田小学校体育館耐震補強整備

【変更】

- 大丸小学校校舎耐震補強整備（改築から耐震補強へ）
- 菱田小学校校舎耐震補強整備（改築から耐震補強へ）
- 農村漁村活性化プロジェクト支援交付金事業（旧名称／元気な地域づくり交付金事業）
- 公共下水道大崎処理区認可計画AⅡ268号（変更前AⅡ204へ）
- 健康診査及び各種がん検診（名称変更）

【中止】

- 中沖小学校体育館アスベスト除去
- 持留小学校体育館アスベスト除去



学校施設の耐震補強整備が新たに追加（野方小学校）

旧県共済住宅が町営住宅へ

家賃2万5千円



改修中の旭ヶ丘町営住宅

平成20年4月に鹿児島県から無償譲渡を受けた旧県共済住宅が、町営住宅として入居できるようになります。

住宅の名称は、旭ヶ丘町営住宅です。現在、入居のための改修工事（工事費1375万5千円）を行っており、所在地は、大崎町仮宿1989番地2で、構造は鉄筋コンクリート造、3階建12戸で、昭和53年度の建築です。間取りは、6畳2間、4畳半1間とキッチンで、家賃月額は2万5千円です。

8月中に入居申込み、抽選を行い、9月から入居できる見込みです。

食料の安定供給のための

基幹水利施設の整備等に関する意見書

大崎町を含む曾於地域は、2万ヘクタールの農地のうち約1万ヘクタールの畑地を対象にした国営かんがい排水事業を実施中であり、将来的には、食料供給基地の一角を担う地域としての役割が果たせるよう水を利用した農業形態への移行に向けて取り組んでいます。

農業・農村が国民に安全で安心な食料を安定的に供給する役割を今後とも果たせるよう農業生産の基礎となる基幹的な農業水利施設の整備、維持管理及び更新などの広域的で大規模な事業については、引き続き国の責任において地方農政局が実施し、地域農業の振興を着実に図ることを要望しました。

意見書の提出先は、内閣府地方分権改革推進委員会委員長、総務大臣、財務大臣、農林水産大臣、全国知事会会長宛です。